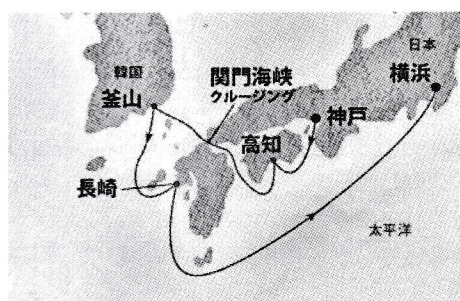


航海日誌 LOG OF THE CRUISE



龍馬ゆかりの地 神戸・長崎・高知と韓国 ダイヤモンド・プリンセス — 2016年6月10日から6月15日まで



In command

トッド・マックベイン 船長

トッド・マックベイン船長はカナダのアルバータ州で育ちました。現在はブリティッシュコロンビア州に在住しています。10代でカナダ海軍に入隊し、彼にとって初めての海と船に魅せられました。その後海軍の駆逐艦で働き、商船のタンカーや貨物船に従事しました。この経験が、客船でのキャリアを目指すきっかけとなりました。

客船では、デッキ訓練生から経験を積み、オフィサーのランクに昇格し、2007年に船長になりました。それ以降、プリンセスのいくつかの客船で指揮を執っています。

クルーズ要約

港	距離(海里)
神戸から高知	147
高知から関門海峡	217
関門海峡から釜山	103
釜山から長崎	152
長崎から端島(軍艦島)クルージング	6
端島から横浜	658

神戸から横浜までの総航海距離

1,283 海里 (NM) = 1,475 ランド・マイル (M) = 2,373 キロメートル(km)

1 海里 (NM) = 1.15 ランド・マイル (M) = 1.85 キロメートル(km)



以下は、ナビゲーションalブリッジにて当直のオフィサーが記録した航海日誌より抜粋したものです。

神戸 – 2016年6月10日(金)

午後、全てのお客様と乗務員が乗船し地元当局より許可が下りてから、ダイヤモンド・プリンセスは係船索を取り外し神戸より出港しました。大阪湾を出た後、水先人が下船しました。その後、最初の寄港地高知へ向けて南西へ進路を定め航行しました。

天候: 本曇り/雨

気温: 22.0°C / 72°F

気圧: 1012.0 mbs

風力: 南西 風力 3

風浪階級: さざ波がある

高知 – 2016年6月11日(土)

夜間、ダイヤモンド・プリンセスは引き続き日本の沿岸に沿い南西へ進みました。早朝、水先人が乗船後、防波堤を通過し港へ入り、船首を右舷側へ旋回させ、指定された停泊地へ接岸いたしました。

夕方、乗客の皆様と乗務員全員が乗船し、地元当局より出港許可が下りてから、ダイヤモンド・プリンセスは係船索を取り外し、出港いたしました。水先人が下船後、関門海峡・釜山へ向けて南西へ進路を定め航行いたしました。

天候: 本曇り/雨

気温: 28.0°C / 82°F

気圧: 1014.0 mbs

風力: 南 風力 2

風浪階級: さざ波がある

関門海峡/釜山 – 2016年6月12日(日)

夜間、ダイヤモンド・プリンセスは、北西の進路を維持いたしました。早朝、水先人が乗船し、本州の4つの島の内2つを分けている関門海峡を通過しました。関門海峡の名称は兩岸の地名である、馬関(現 下関市)の「関＝カン」と、門司(現 北九州市門司区)の「門＝もん」を取ったものです。この海峡は、1年間に15cm程沈泥が積もります。その浚渫土砂を利用し、低コストで北九州空港を建設しました。

関門海峡を通過後、水先人が下船しました。その後、釜山へ向けて進路を定め航行しました。午後1時30分頃、釜山の水先人が乗船してからすぐに、港の外側にあるTSS(往復航行分離方式)へ入り、防波堤を過ぎてから指定された停泊地へ向かいました。

夜、お客様と乗務員全員が乗船し出港準備が完了後、ダイヤモンド・プリンセスは港を出て、TSSに入りました。TSSを出た後、水先人が下船し、長崎へ向けて南へ進路を定め航行しました。

天候: 本曇り/雨

気温: 22.0°C / 72°F

気圧: 1007.0 mbs

風力: 南南東 風力 3

風浪階級: さざ波がある



長崎 – 2016年6月13日(月)

夜間、ダイヤモンド・プリンセスは引き続き長崎へ向けて南南東に進路を定め航行しました。早朝、水先人が乗船し、65mの高さの女神大橋を通過して指定された停泊地へ向かい接岸の態勢に入りました。長崎市は、長崎県の県庁所在地です。16世紀から19世紀に掛けて、ポルトガルとオランダの影響を受けました。そして長崎の教会群とキリスト教関連遺産は、ユネスコの世界遺産暫定一覧表に登録されました。また、長崎の港は、日清戦争と日露戦争で大日本帝国海軍の本拠地となっていました。

夜遅く、乗客の皆様と乗務員全員が乗船してから、係船索を取り外しました。出港後、船首を右側に旋回させ、前進いたしました。再度女神大橋を通過後、水先人が下船しました。その後、軍艦島へ向けて南へコースを定めました。軍艦島を左舷側に通過後、横浜へ向けて航行しました。

天候: 本曇り/雨

気温: 23.0°C / 73°F

気圧: 1001.0 mbs

風力: 北東 風力 3

風浪階級: さざ波がある

終日航海日 – 2016年6月14日(火)

日中、ダイヤモンド・プリンセスは横浜へ向け北東の進路を維持しました。平均20ノットの速度で航行し黒潮を通過しました。

黒潮は、北太平洋の西側を北に流れる海流です。北太平洋旋廻の一部でもあるメキシコ湾流と似ており、また、強い西岸境界流です。

ノットは、海での速度の単位です。1ノットは1時間に1海里(1,852m/6,076ft)進む速度です。ノットの語源は、ログ(昔使われていた速力を測る道具)のロープに14メートル(47ft3in)間隔でつけられたノット(結び目)から来ています。28秒砂時計の砂が落ちきるまでの間に、ロープの結び目(ノット)がいくつ繰り出されたかを数え、船が1時間に1海里進む速度を測りました。ノットは速度であり、距離ではないので「毎時ノット」という言い方は適当ではありません。

正午位置: 緯度: 32°48.0' N ・ 経度: 134°41.0' E

天候: ところにより曇り

気温: 25.0°C / 77°F

気圧: 1004.0 mbs

風力: 北東 風力 5

風浪階級: やや波がある

コース: 067°

平均速度: 22.5 ノット

横浜 – 2016年6月15日(水)

深夜、友ヶ島を通過後、浦賀水道TSS(往復航行分離方式)へ向けて北へコースを変更します。ベイパイロットが、午前3時*に乗船し水路を通過いたします。その後、ハーバーパイロットの助けを借りて、停泊地へ向け接岸の態勢に入ります。

*記載時推定



ダイヤモンド・プリンセス

運航: プリンセス・クルーズ

船籍: ロンドン U.K.

総トン数: 115,906 トン

純トン数: 78,835 トン

喫水: 8.572m - 28 ft.

全長: 288.33m - 946 ft.

全幅: 37.50m - 123 ft.

造船所: 三菱重工業株式会社

長崎造船所 & マチネリーワークス

起工: 2002年 3月2日

完成: 2004年 2月26日

船級協会: ロイドレジスター

乗客定員数: 3,100名

乗組定員数: 1,060名

ブリッジコマンドとコントロールチーム

船長	トッド・マックベイン	キャプテン・イン・コマンド
副船長	ジュゼッペ・カステラーノ	セカンド・イン・コマンド、デッキデパートメント長
首席一等航海士	ラファエル・ディ・マルティーノ	船のセーフティーオフィサー
一等航海士	ルカ・コンザト	シニアウォッチオフィサー (ナビゲーター)
首席二等航海士	デービッド・デントン・カデュー	シニアウォッチオフィサー
二等航海士	ティホミル・ネディアルコフ	シニアウォッチオフィサー
三等航海士	フランチェスコ・ロシエロ	ウォッチオフィサー (ログオーサー)
三等航海士	サム・クリフォード	ウォッチオフィサー
三等航海士	アダム・ワディントン	ウォッチオフィサー
デッキ訓練生	ウォルター・サントロ	トレーニング・オフィサー
デッキ訓練生	スコット・プロウズ	トレーニング・オフィサー

1日24時間ブリッジ (操舵室) に 2人のオフィサーが 常駐しており、4時間勤務し8時間の休憩をとります。

0000-0400 - 0400-0800 - 0800-1200 - 1200-1600 - 1600-2000 - 2000-2400

ブリッジからお別れのメッセージ

このたびはダイヤモンド・プリンセスにご乗船いただき、誠にありがとうございます。皆様に楽しんで、またリフレッシュしていただけた休日であることを願っております。明日はお気をつけてお帰りをくださいますようお願いいたします。私キャプテンを含む、乗務員一同皆様のまたのご乗船をお待ちしております。

トッド・マックベイン 船長/ブリッジチーム (操舵室)